

今月の11日に、アメリカ合衆国で同時多発テロ追悼式典が行われた。同時多発テロとは、ニューヨークの世界貿易センタービルなどで同時に発生した、航空機などを用いたテロ事件である。この事件での死者は3025人、負傷者は6291人以上となった。その中には、出火したビルから市民を助け出すために突入り、命を落としてしまった警察官や消防隊員も含まれている。彼らの勇敢な行動は世界中から感動を呼び、遺族には多くの

募金や手紙が寄せられた。市民を大切に思い、助けたいという気持ちがある世界中で称賛されたのだ。

日本でも、近隣の国で

後に日本で起きた東日本大震災の時には200億円以上もの義援金が日本に送られた。義援金だけでなく、台湾から被災地に援助隊も派遣された。

心からの善意でしたことには必ず感謝が返ってくる。たとえそれが無償のものであり、自分にとって利益のないことであっても、私たちは進んで人を助けられるような人間になるべきではないだろうか。また、助けられた方もきちんと感謝しなければいけない。

論説

人助けと感謝の連鎖を作る

ある台湾が台湾中部大震災や南部台風災害で大きなダメージを受けた際に積極的な支援を行った。もちろんその支援は無償のものであったが、数年

これらの慈善活動に感動を覚えた日本は、台湾に向けて感謝のCMを作成するなど、さまざまな形で台湾に謝意を伝えた。これらのように、人が

まず誰かの落とし物を拾ったり荷物を運ぶのを手伝うなど小さな人助けから始め、助けもらった人は常に相手に感謝の心を持つことが大切である。